

世 界 史 B 問 題

はじめに、これを読むこと。

1. この問題用紙は、14 ページまでである。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合し、確認すること。
3. 解答用紙の所定の欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定の欄にマークするか、または所定の欄に記述すること。
5. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入しなさい。
6. 訂正は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
7. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。また所定以外のところには、絶対に記入しないこと。
8. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
9. 解答用紙は、持ち帰らないこと。
10. この問題用紙は、必ず持ち帰ること。
11. この試験時間は、60 分である。
12. 解答をマークする場合の注意。

(マーク記入例)

良い例	悪い例
	  

〔 I 〕 次の文章をよく読み、下記の設問に答えなさい。

中国における文字の起源は、殷墟から出土した亀甲・獣骨に刻まれた文字、甲骨文字である。甲骨文字は、占いの結果を記録したものであるが、殷王は占いの結果を神意とみなし、これに基づき農事や軍事などを行う祭政一致の政治、すなわち、をおこなった。文字を有する文明として、中国は古代から文字を使い、膨大な文書あるいは書物を生み出してきた。その多くは政治や行政など「まつりごと」にかかわるものであったが、当然、文字は、諸個人の思想や感情を表すことにも用いられてきた。

中国最古の詩集とされるは、西周時代の黄河地方の民謡や周、魯などの儀礼歌を含んでおり、孔子がその門人の教育のために編纂したといわれている。儒家は周初の治世を理想化し、それゆえ、その民謡や儀礼歌などを、良き治世の範を伝えるものとして尊重していた。古代において、治政の術と文学が浅からぬ関係にあったことを示している。

エジプト、メソポタミア、インドなど、他の古代文明諸国と同じく、中国においても、文字を扱う人々は、その治政に必要不可欠の存在であった。文字を知り、書を読む人々は、春秋末期から戦国時代において、各国諸侯の間を遊説し、治政の術策を論じ、諸子百家と呼ばれた。

彼らは、時には始皇帝の焚書坑儒のように、^a 厳しい迫害を受けることもあったが、それ以後の大帝国の統治には欠くべからざる人々であることに変わりはない。文人が国家機構の要職を占めることを確かなものにしたのは、隋唐以後の科挙制度であるが、それ以前の官吏任用制度、たとえば漢代のや魏晋南北朝期の九品中正にしても、文字を知り、書を読む人々の存在を前提としていた。また、文学や芸術も、彼らの知的生活から生み出されることになったのは、当然であった。そこでは、文人であることと官吏であることは、矛盾するものではなく、むしろ普通のことからであった。

唐代は文学・芸術に秀でた文人を多数輩出した。初唐の三大書家欧陽詢・虞世南^b・褚遂良は、みな、書を愛し自らも能書家であった第二代皇帝に官僚として仕えた。だが、天分があるものが、その才能を見出され、望みの官職を

得るとはかぎらなかつた。のちに詩聖と呼ばれた杜甫^cは、科挙を受けたが合格しなかつた。安史^dの乱勃発の後、肅宗への忠誠が認められ、一時官職を得たが、ほどなく左遷され、結局、官を捨て、流浪の生活を送ることになった。

唐代において、則天武后が門閥貴族を退け科挙官僚を積極的に登用したように、歴代皇帝も次第に科挙出身者を重用するようになったが、それを受け、貴族の子弟もまた科挙を受け官職につく風潮が強まった。その傾向は宋代にはいっそう強まり、科挙合格者でなければ重要な官職につくことは難しくなっていく。前近代の中国では、皇帝による支配を実質的に担ったのは武人ではなく、文人であった。とくに科挙の最高段階である進士に合格したものはもっとも尊敬された。宋代の王安石、欧陽脩、蘇軾らは、すぐれた文章家として知られ、ともに唐宋八大家に数えられるが、いずれも科挙(進士)出身の政府高官、政治家であった。王安石は神宗^eの の職につき、国政の改革をはかり新法を断行したが、欧陽脩、蘇軾は、新法に反対した。幼帝哲宗の即位にともない となり、新法を廃し旧法を復活した司馬光もまた進士であった。新法党と旧法党の争いが宋朝の国力を弱め、北方の遊牧民族の侵入を許す原因となったとして、宋代の治政に対する評価は低いが、このような政争のなかにおいて、新旧両党の指導者たちは、左遷や失脚にあつても、殺害されることもなく皇帝より「死を賜わる」こともなかつた。欧陽脩や蘇軾は昇進と左遷を繰り返しているが、それは彼らが憚ることなく自分の意見を表明したからであつた。それが他の王朝とは異なつたこの時代の政治的気風であつた。

金、南宋を滅ぼし中国を統治したモンゴル族が樹立した元朝は、当初、科挙を廃止した。その後、科挙はなんとか再開されたものの、元朝のモンゴル人・色目人優位と、漢族の伝統的な知識人・文人である への冷遇に変わりはない。それに代って、モンゴル人に好まれたのは民衆の演劇であつた。元代においては、宋代以来の雑劇が発達し、元曲と呼ばれた。元朝を滅ぼし、中国の伝統王朝を再興した明朝のもとで、科挙も完全に復活した。明朝の文人たちの思想を支配したのは北宋の に始まり、二程(程顥・程頤)の学を継ぎ、南宋の朱熹によって大成された宋学、朱子学であつた。だが、明代における商工業の発達から生まれた都市の豊かな住民たち、文字を知る都市住民は、上下関係の秩

序を重んじる朱子学よりも、人間の良知を信頼する王陽明の学を支持したといわれる。陽明学左派を代表する **ク** は、仏教を信じ童心を重んじ、儒学の礼教を偽善として非難し、商人の営利活動を擁護した。

明代以来の商工業の発達、印刷業の発展をもたらした。印刷については、世界的にはグーテンベルクの活版印刷の発明が有名であるが、アルファベットからなる欧文とは異なり、数万の文字からなる漢文は、活版には不向きであった。中国の印刷は、**ケ** 印刷であり、すでに唐代には発明され、宋代に広く普及した。大蔵経などの仏典、四書五経などの経書などがこれによって印刷されたが、印刷による教典や経書の出版は、従来の写経に比べ、個人の筆写による誤りを是正することができ、信頼が高まったといわれる。教典・経書以外では、暦書などの実用書、科挙受験のための参考書などが印刷されたが、識字者の増加によって、戯曲や小説など民衆向けの読み物の印刷も広く行われるようになった。

アヘン戦争以後、外交交渉などのための人材を養成するため、同文館(北京)、広方言館(上海)など官立の外国語学校が設立され、欧米に留学生が送られた。だが、科挙に対抗し、それを凌駕する知識人が生まれることはなかった。『天演論』(ハクスリー『進化と倫理』)・『原富』(アダム＝スミス『国富論』)などの翻訳で、清末の知識人に大きな影響を与えた嚴復は、幼い頃、家の事情から科挙受験を諦め、福州の船政学堂で学び、のちにイギリスに留学した。留学から戻った彼は、北洋水師学堂の総教習に就任したにもかかわらず、科挙を何度も受験している。国政に関する自分の意見書が採用されないのは、科挙出身者ではないからと考えたからであった。

しかし、科挙の内容は相変わらず古典の暗記や解釈を試すものであり、その記述は決まりきった修辞法である八股文によるものであった。それらは、近代化を目指す国家にとって相応しいものではなかった。義和団事件後、憲法大綱の準備、新軍の創設や学校の設立など近代国家を目指す **コ** の施策の一環として、1905年、科挙はついに廃止された。

設問 1 文中の空欄(ア～コ)にもっとも適する語句を漢字で記入しなさい。

設問 2 文中の下線部(a～e)に関する下記の設問に漢字で答えなさい。

- a 墨子は兼愛・交利・勤儉節約を唱え、そこから戦争を否定した。墨子の戦争否定を表す言葉を記しなさい。
- b 盛唐の時代、玄宗に仕えた代表的な画家は誰か、その名を記しなさい。線の太さで量感・立体感を表す新しい技法を生み出したとされる。
- c 生涯のほとんどを放浪など自由奔放に生きたといわれる杜甫とならび称される唐中期の詩人は誰か、その名を記しなさい。
- d 王羲之以来の書風を一新し、剛健勇壮な書風で知られる盛唐の書家は誰か、その名を記しなさい。彼は26歳で進士に合格し、また安史の乱のおりには、義勇軍を率いて反乱軍に抵抗したことで知られる。
- e 神宗の子である徽宗は政治より絵画を好み、自身もすぐれた画家であった。宋代において、絵画の制作をつかさどった宮廷の機関を何と呼ぶか記しなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章をよく読み、文中の空欄(1～10)にもっとも適する語句を記入しなさい。

図書館は知識を収集し後世に伝える場所であり、その歴史は文字の誕生とほぼ同時に始まったとされる。建造者がわかっているもので最古の図書館は、前7世紀にアッシリアの首都ニネヴェに [1] 王によって建てられたものである。蔵書として、王室や政治に関する記録、年代記、神話、予言の解釈を記したものなど、2万点以上の粘土板が確認されている。その中には、古代メソポタミアの伝説的英雄を描いた『 [2] 』やバビロニアの創世神話『エヌマ・エリシュ』など、今日でも広く知られている作品が含まれる。

古代エジプトでは、神聖文字を用いてパピルス製の紙に文字が記録された。古代エジプトにはパピルス本を収蔵した図書館が多く存在していたと言われているが、パピルス紙は湿気に弱いためほとんど現存していない。たとえば、第19王朝のラメス2世は首都テーベの宮殿に図書館を設置したという記録が文献にあるが、考古学的には実証されていない。ラメス2世は、ヒッタイトと [3] において戦いをを行った王である。歴史家ディオドロスはその著書のなかで、この図書館の入り口には「魂の治療所」と刻まれていた、と言及している。このことから、行政文書だけではなく、医学書・祈禱書・宗教書なども収蔵されていたと推測されている。

古代ギリシアでも、ギリシア文字を使ってパピルス紙の巻物で本が作成され、さまざまな学問や文学作品が記録された。古代ギリシア文学最古期の叙事詩として、前8世紀頃の、ホメロスが作者とされる『イリアス』と『オデュッセイア』が挙げられる。前7世紀になると、ポリスの出現に伴って人間の個性に目覚めた詩人たちが活躍した。女性詩人としては、レスボス島出身で愛を主題とした叙情詩を書いた [4] が有名である。前5世紀には、オリンピア競技などの競技会の優勝者をたたえる『競技祝勝歌』で知られるピンダロスも現れた。アテネの重要な祭典では、悲劇や喜劇のコンテストが催され、多くの著名な劇作家が活躍した。一方、民会や民衆裁判所で弁論が市民生活にとって重要になってくると、ソフィストとよばれる弁論・修辞の職業教師が現れた。「万物の尺度は人間」と主張した

5 がその典型である。これに対し真理の絶対性を説いたソクラテスは、最初に哲学を実践した人物であると言える。『国家』を著した 6 は、アテネ郊外にアカデメイアという学園を設立し、そこに図書館も併設した。「万学の祖」と呼ばれるアリストテレスも、アテネに学園を創設し、同様に図書館も設置した。こうして図書館は、研究・教育の機能も重視されるようになった。

ヘレニズム時代、プトレマイオス朝の首都アレクサンドリアには、王立研究所 7 とアレクサンドリア図書館が建設された。この図書館は学術の殿堂として、世界中の文献の収集を目的とし、多くの思想家や作家の著作、学術書を所蔵した。この図書館の蔵書は、70万巻にも及んだと言われている。

アレクサンドリア図書館と並び称されるヘレニズム時代の図書館は、小アジアのアッタロス朝の首都であるペルガモンに建設された。この時代、エジプトからパピルス紙の輸出を禁じられたため、羊や山羊の皮を利用した羊皮紙で本を作製するようになったとされている。羊皮紙はやがて書写素材として広く用いられることになった。その後パピルス紙は生産されなくなるが、プリニウスの全37巻からなる著書『 8 』にその作製法が記録されており、パピルス紙の製造技術は現代になってから復元に成功している。

ローマの平和を実現した五賢帝の時代、図書館事業は帝国の公共事業として重要な位置を占めるようになっていた。図書館行政官の地位が向上し、ローマ市民のための公共施設が整備され、公共浴場にも図書館が併設された。たとえば、ローマ帝国領内の全自由民にローマ市民権を認めるアントニヌス勅令を發布した 9 帝の大浴場は、それ自体が公立図書館の附属施設であった。のちに東ローマ皇帝テオドシウス2世はネストリウス派を異端として追放したが、それは小アジア西岸の都市 10 で431年に開催された公会議で決定された。そこには巨大なセルシウス図書館がある。この図書館と前述のアレクサンドリア図書館、ペルガモン図書館は、古代の三大図書館とされている。

〔Ⅲ〕 次の文章をよく読み、下線(1～10)に関連するそれぞれの問(1～10)にもっとも適するものを(A～D)の中から一つ選び、解答欄にマークしなさい。

ナポレオンの大陸支配が崩壊すると、新しい国際秩序を確立するために、ウィーン会議が開催された。この会議には、イギリス・フランス・ロシア・プロイセンなどの各代表が参加し、プロイセンからは¹ハルデンベルクが参加した。司会を務めたのはオーストリアの外相、メッテルニヒであった。各国の君主に歓迎された正統主義が基本原則として採用され、ヨーロッパにおける各国の勢力均衡がはかられた。ウィーン議定書は、ワーテルローの戦いの直前になって成立した。

この議定書により、²ブルボン王家が復活する一方、³大国間の均衡がはかられた。ロシア皇帝が⁴ポーランド王を兼ね、プロイセンは東西に領土を拡大した。またスイスは、永世中立国となり、ドイツでは神聖ローマ帝国は復活せず、⁵ドイツ連邦が組織された。この国際体制を安定させるために、ロシア皇帝は1815年9月、⁶神聖同盟を提唱した。19世紀の世界では、イギリスがその経済的繁栄と強大な海軍力を持ち、相対的平和を保っていたが、イギリスとともにこの新たな国際秩序を支えたのが、大陸軍国ロシアであった。

神聖同盟よりも反動的体制維持の機能をもっていたのが、⁷四国同盟であった。反ナポレオンの中心となった四カ国から構成され、革命の防止、紛争の終止が企図された。1818年11月、フランスの参加が認められて五国同盟となったが、それはフランス革命とナポレオン支配のもとでめざめた自由主義とナショナリズム(国民主義)にもとづく抵抗運動の抑制を意図するものであった。

だが、こうしたウィーン体制の保守的かつ抑圧的な性格ゆえに、⁸ヨーロッパ各地での抵抗運動の展開は避けがたかった。ナポレオン戦争の影響は⁹ラテンアメリカ諸国へも波及した。メッテルニヒはこうした独立運動を弾圧しようとしたが、ラテンアメリカへの経済進出をねらうイギリスやモンロー宣言を発したアメリカの反対にあって断念した。ヨーロッパを襲った¹⁰1848年の諸革命のなかで、最終的にウィーン体制は崩壊していった。

問 1 下線部 1 に関する次の文章のうち、もっとも適切なものを選びなさい。

- A 農奴制を廃止した。
- B シュタインの改革を継承した。
- C 首相になったものの、ナポレオンの圧力で罷免された。
- D 行政機構の改革、農業改革を進めたものの、営業の自由化には反対した。

問 2 下線部 2 に関する次の文章のうち、もっとも適切なものを選びなさい。

- A メッテルニヒが提唱した正統主義に基づいて作成された。
- B フィンランドとベッサラビアが独立した。
- C ロンバルディア・ヴェネツィアは、オーストリア領となった。
- D オランダのケープ植民地領有が認められた。

問 3 下線部 3 に関する次の文章のうち、誤っているものを選びなさい。

- A ナポレオンとイギリス・プロイセン・ベルギー連合軍との決戦であった。
- B 現在のベルギーの小村落での戦いであり、ナポレオンが敗北した。
- C この戦いの結果、ナポレオンは退位することになった。
- D イギリス軍司令官は、ウェリントンであった。

問 4 下線部 4 に関する次の文章のうち、もっとも適切なものを選びなさい。

- A ルイ 13 世の治世に開かれて以後、三部会は 1789 年まで開かれなかった。
- B ルイ 13 世に仕えたコルベールは、重商主義政策を推進した。
- C アンリ 4 世が発布したナントの王令では、個人の信仰の自由までは認められなかった。
- D ルイ 13 世の治世に、フロンドの乱が起こった。

問 5 下線部 5 に関連して、ドイツ連邦またはライン同盟について述べた次の文章のうち、もっとも適切なものを選びなさい。

- A ドイツ連邦は、オーストリア・プロイセン以下 35 の君主国と 4 自由市からなる。
- B プロイセンは、ドイツ連邦の盟主となった。
- C ドイツ連邦は、1848 年の三月革命によって中断されたが、ドイツ帝国成立(1871 年)まで存続した。
- D ライン同盟には、のちにプロイセンも加盟した。

問 6 下線部 6 に関連して、この同盟を提唱したロシア皇帝の名を選びなさい。

- A ニコライ 2 世
- B ニコライ 1 世
- C アレクサンドル 2 世
- D アレクサンドル 1 世

問 7 下線部 7 に関して、この同盟に加盟していた国を選びなさい。

- A ベルギー
- B オランダ
- C プロイセン
- D スペイン

問 8 下線部 8 に関する次の文章のうち、もっとも適切なものを選びなさい。

- A ドイツでは自由と統一を求めて、イエナ大学で大学生の組合であるブルシェンシャフトが結成された。
- B イタリアでは、マッツイーニがカルボナリを結成し、蜂起した。
- C スペインでは、ハプスブルク家の専制支配に対して立憲革命が起こった。
- D ロシアでは、アレクサンドル 2 世の即位に際して、デカブリストの乱が起きた。

問 9 下線部 9 に関する次の文章のうち、もっとも適切なものを選びなさい。

- A ハイチはトゥサン＝ルヴェルチュールの指導のもと、スペインからハイチ共和国として独立した。
- B メキシコでは、司祭シモン＝ボリバルの指導のもとに、スペインから独立を達成した。
- C アルゼンチンはホセ＝リサールの指導のもとに、スペインから独立を達成した。
- D ブラジルは 1822 年、ポルトガルの王子が皇帝に即位し、「ブラジル帝国」として独立した。

問10 下線部 10 の年にフランスで起きたできごとについて述べた次の文章のうち、もっとも適切なものを選びなさい。

- A フランスの二月革命は、七月王政を打倒し、第三共和政を樹立した革命である。
- B 二月革命後の臨時政府では、社会主義者が中心となっており、少数の共和主義者も加わっていた。
- C 共和主義者のルイ＝ブランが、臨時政府に入閣した。
- D 四月普通選挙では、社会主義勢力は敗北した。

〔IV〕 次の文章をよく読み、下線(1～10)に関連するそれぞれの問(1～10)にもっとも適するものを(1～4)の中から一つ選び、解答欄にマークしなさい。

近世ヨーロッパの貴族の基盤は、中世末から近世初めにかけて形成される。中世末から始まる君主権力の強化は、¹貴族の協力なしには成し遂げられなかった。その結果、²権力と富を獲得した貴族は、特別の地位を与えられる。たとえば、1520年にはスペイン王カルロス1世(皇帝としてはカール5世)が、グランデという高位のスペイン貴族にのみ³与えられる栄誉を定め、忠実な貴族に報いた。また近世ヨーロッパの各国で創設された⁴騎士団も、貴族に特別な栄誉を与えるものだった。

中世における貴族の基準は、「貴族らしさ」にあり、厳密な証明が求められることはほとんどなかったが、16世紀以降、⁵宗教戦争による貴族の入れ替えはあったものの、全般的には社会的流動性が減少し、貴族も貴族であることの証明を求められるようになった。ルイ14世による貴族改めは有名である。ロシアでも、⁶ピョートル大帝の時代になって、皇帝による貴族のコントロールが強力になった。またイングランドには、他のヨーロッパ諸国と比較して数は少ないが、強力な⁷爵位貴族がいる一方で、ジェントリと呼ばれる爵位を持たないエリート層が存在していた。⁸

⁹スペインやポーランドのようなヨーロッパの周縁部に位置するところでは、貴族の数が多かったことで知られている。とくにポーランドの¹⁰シュラフタと呼ばれる貴族層は、貴族共和制といわれる体制を形成していた。

問 1 下線部1に関連して、中世ヨーロッパの封建社会について述べた文として、もっとも適切なものを選びなさい。

- 1 古代ローマ帝国の制度であった従士制が発展した。
- 2 荘園で保護される農民は、領主に臣従礼を行った。
- 3 領主は農民に対して領主裁判権を持っていた。
- 4 農奴は、家族や住居・農具などの所有権も認められなかった。

問 2 下線部 2 に関連して、英仏百年戦争について述べた文として、もっとも適切なものを選びなさい。

- 1 クレシーの戦いでは、フランス軍がイギリスに大勝した。
- 2 ジャンヌ＝ダルクは、オルレアンを包囲していたイギリス軍の撃退に活躍した。
- 3 ポワティエの戦いで、エドワード黒太子が捕虜となった。
- 4 最終的に勝利を収めたのは、フランスのシャルル 8 世である。

問 3 下線部 3 に関連して、神聖ローマ帝国皇帝カール 5 世の治世に起こったことについて述べた文としてもっとも適切なものを選びなさい。

- 1 ミュンツァーが、ドイツの農民反乱を鎮圧した。
- 2 スレイマン 1 世のオスマン軍により、ウィーン包囲がなされた。
- 3 ルターが九十五カ条の論題を発表した。
- 4 ヴォルムスの帝国議会で、ルター派が認められた。

問 4 下線部 4 に関連して、中世に創立した騎士団について述べた文として、誤っているものを選びなさい。

- 1 ドイツ騎士団は、十字軍終了後は東方植民に参加した。
- 2 テンプル騎士団は、14 世紀に解散となった。
- 3 ドイツ騎士団は、イェルサレムで設立された。
- 4 ヨハネ騎士団は、レパントの海戦で活躍した。

問 5 下線部 5 に関連して、三十年戦争とウェストファリア条約について述べた文として、もっとも適切なものを選びなさい。

- 1 ベーメンの反乱によって始まった。
- 2 ヴァレンシュタインは、新教側の中心となって戦った。
- 3 ウェストファリア条約で、カルヴァン派が禁止された。
- 4 ウェストファリア条約で、西ポンメルンがプロイセン領となった。

問 6 下線部 6 に関連して、17～18 世紀のロシアについて述べた文として、**誤っているもの**を選びなさい。

- 1 ベーリングが、二度にわたるカムチャツカ探検をおこなった。
- 2 ラクスマンが北海道を訪れ、日本との通交を求めた。
- 3 ステンカ＝ラージンが、農民反乱を指導した。
- 4 北方戦争でスウェーデンに大敗した。

問 7 下線部 7 に関連して、17～18 世紀のイギリスの海外進出について述べた文として、**もっとも適切なもの**を選びなさい。

- 1 ユトレヒト条約で、フランスからニューファンドランドを獲得した。
- 2 パリ条約で、オランダからフロリダを獲得した。
- 3 シャンデルナゴルを、インド進出の拠点とした。
- 4 パリ条約で、ミシシッピ川以西のルイジアナを獲得した。

問 8 下線部 8 について述べた文として、**誤っているもの**を選びなさい。

- 1 ジェントリの起源は、ローマ帝国の制度にあるといわれている。
- 2 ジェントリの中には、ピューリタンが多くいた。
- 3 ジェントリの中には、治安判事などの地方行政の要職を務めるものがあった。
- 4 ジェントリの中には、毛織物マニファクチュアの経営・貿易を行って、富を蓄積するものがあった。

問 9 下線部 9 に関連して、16～17 世紀のスペインで活躍した芸術家として、誤っているものを選びなさい。

- 1 ムリリョ
- 2 ベラスケス
- 3 エル＝グレコ
- 4 ファン＝ダイク

問10 下線部 10 に関連して、14～18 世紀のポーランドについて述べた文として、もっとも適切なものを選びなさい。

- 1 ヤゲウォ朝の滅亡以降、ポーランドでは選挙王政が行われた。
- 2 第 2 回ポーランド分割によって、ポーランド王国は消滅した。
- 3 ヤゲウォ朝は、エストニアとポーランドの合併によって成立した。
- 4 カジミェシュ 3 世は、ワルシャワ大学を設立した。

〔V〕 啓蒙専制主義について、3 行以内で説明しなさい。